

数学科 (数学探究Ⅲ) 学習指導案						
日 時	平成30年6月7日 (木) 第1限目		指 導 者	金子 晃大		
学 級	普通科 3年4組理系		教 室	215教室		
単 元	平面図形	教 科 書	自作教材「数学探究Ⅲ」			
指 導 目 標	平面図形の分野では、数学Aで学習する内容以外の定理や公式を利用することが多い。また、図形を多角的に捉える必要がある。そのために、定理や公式を活用する力や図形をさまざまな視点から考える力を養わせる。		指 導 計 画	1 性質や定理の確認・・・・・・・・・・・・・・ 2時間		
				2 問題演習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6時間 (本時はその1時間目)		
本時の主題	図形の性質や定理の利用					
前時の課題	作成したマインドマップを確認しておく。					
本時の目標	問題を解くために必要となる定理などを、確実に利用できるようにさせるため、問題に応じてそれらを的確に用いる力を養う。					
指 導 過 程	学 習 活 動	時間 (分)	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 ・ 方 法 ・ 資 料 等		
	導 入	前時に作成したマインドマップを確認する。	2		○マインドマップ	
	展 開	1	ペアを作り、マインドマップを見ながら問題に取り組む。	10	・ 机間指導を行い、理解を促す。 ・ 図が描けていないペアには、図を示して問題を解かせる。	【評価規準】 ・ ペアと協力し、問題を解決しようとしているか。 < 関心・意欲・態度 > 【評価方法】 ・ 机間指導により、ノート、取り組む姿勢などを確認する。
		3	大学入試センター試験の過去問題を解く。	15	・ 定理を用いるポイントを説明する。	○問題プリント 【評価規準】 ・ どの定理を利用すれば良いか、考えることができるか。 < 知識・理解 >
		4	解説を確認する。	15	・ 問題文の誘導に従って問題を解くために、読解が重要であることを強調する。	【評価方法】 ・ プリントの解答状況を確認する。
	整 理	本時の学習内容のまとめをする。	3			
備 考	普通科 生徒数 11名 (男子4名、女子7名)					